



皆さまの暖たかいお力添えによって3周年を迎えることができました。今後ともよろしくお引立てください。

●第5回アルバロス杯池田カンツリー倶楽部優勝者柴田省三氏を囲んで

アルバロス

戸井 千晶

秋の長き夜べに小さな演奏会

ギターは スズ…虫
 ピアノは ジャズ…虫
 ヴォーカルは 男と女
 調べは流れ
 手にする
 ウィスキーと…
 アラカルト
 あなたの時は
 満ちたりて
 深き夜居に透ける

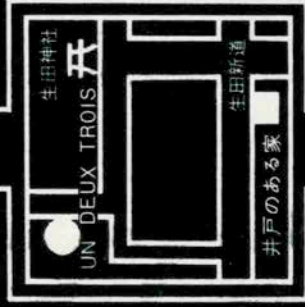


☎ 391-8639

UN DEUX TROIS

井戸のある家の住人は粋人だ

生田神社の近くに井戸のある家がある。話しが生れて交わりが深くなり、話し合って食事が進む、話しが満ちて酒をくむ、時折、井戸のつるるへの音聞こえ、番音器が調べをそえる、これが井戸のある家の意。



☎ 331-5664

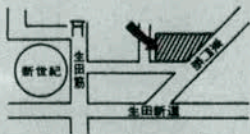
居酒屋風井戸のある家

いこいのときを
佐久間のスペースで



くらぶ
佐久間

神戸・生田区
東門筋ゼウスタウン 3F
Tel.321-2226~7
日曜・祭日休み
P.M. 6:00~P.M.11:00



セカンドママの和子さん▶





Salon de Chanson

■シャンソンと共にく5>

店のムードと堀さんのシャンソンに酔う

松岡 道純 (株)日新ガレージ

戸井 千晶 <アルバトロス>右

松岡「この店の雰囲気と堀さんの歌が好きで、月のうち半分ぐらいはここに来るんですよ」

戸井「僕なんかこの前から堀さんにピアノのレッスンも受けてるんですが、まだどうもうまく弾けなくて」

「大丈夫。1年ぐらいでうまく弾けるようにしてみせるわ」と堀郁子さんが笑う。息の合ったコンビにママの中谷さんがすすめる洋酒も一段とおいしい秋の宵です。

★トア・ロード昼と夜のいこいのサロン
TEA & DRINK

サント*ノレ

生田区中山手通2丁目トア・ロード

PHONE (078)391-3822

- Menu 紅茶・コーヒー¥300
ビール¥300 水割り¥400
- 堀郁子シャンソントイム
月～土曜P.M. 8～11:30

Tea time A.M.10～P.M.6時

<毎木曜休み/年中無休>

Wine time P.M. 6～12時

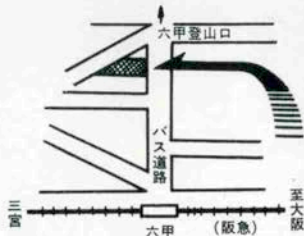
snack RENÉ CLAIR

ドリンク
ルネ・クレール

ビール ¥300

水割 ¥400

オールド(キープ) ¥6800



六甲の星月夜
ボンソワール!
緑の部屋
ルネ・クレール
粋な男
ムッシュウ・フジワラ
華麗、変身
ルネ・モード
心の詩
サ・セ・パリ
琥珀の洋酒
ポルト ソンテ!



・会員制



P.M. 6:00~A.M. 1:00 年中無休

神戸市灘区山田町3丁目2-18 TEL 851-2754



RENE MODE



コンクリートと蛍光灯の世界を嫌った、神戸っ子が三宮のど真中に小さな、小さな、山小屋を建てました。名前はウイスキー・キャビン“レモン”丸太と古材を主体に使った為、木の色と香りが一杯。このカナダ風の雰囲気がとても、ウイスキーと合うのです。

中山手一丁目東門筋南入口

TEL 331-4644

レモンのスタッフ、左から正雄、かおる、二郎、ルイス君



カクテル材料



いつも いちばん いいものを
 株式会社 明治屋



SCHÖNBRUNN
DER

Jolica

ジオリカ
洋菓子シリーズ
〈11月〉

★クリスマストルテ

今月のジオリカのお菓子は一足早いクリスマスデコレーションケーキそっとキャンドルに火を灯して外のざわめき聞きながら一人でいるのも最高!とてかわいいキャンドルトルテとブラックチェリーのキルシェントルテ。今年のプレゼントは何にしようかなあ?なんて大きく夢が広がります。

〈デコレーションケーキは御注文に応じて、生クリーム、チョコレート、バターが出来ます〉

創る人/西山博司



ヨーロッパの中でも森と音楽のふるさとオーストリアのお菓子は、伝統の中で育まれて、洗練されたホームメイドの味を作りあげています。〈ジオリカ〉はケーキづくりの名匠が腕をふるって、本場最高の味をおとどけする店です。

神戸大丸 地階 tel 331-8121

● 本社

神戸市東灘区御影石町3丁目11-19

TEL 078 (811) 1 2 3 4



ミナトに白い異国の客船が浮ぶ秋。
神戸・芦屋のチャイミングなお店
を、シヨイント・シヨッピングして
みました。

★カンパリー

三宮センター街のイタリアヤ風ビ



センター街のムーディな「カンパリー」

ツツアハウス・ベル・カンパリー
イタリアのリキユール酒から名付
けられたこのお店には、つたの
からまった古井戸もあつてごきげん
ノ四十種類もあるこのピッツア



どれでも350円です。

は特製チー
ズと御自慢
のソースが
味の秘訣。
どれも35
0円と安く
ておいしい
のです。夜にはピアノの演奏もあ
り、ピッツアには目が無いヤング
レイやアベックでいつも楽しい
雰囲気なのです。

●神戸市三宮センター街ベル1F
TEL078・331・0021

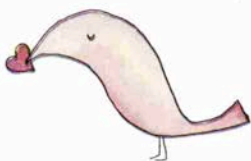
★レイバード



白いレンガのレイ・バード

ショウウ
インドウを
見ているだ
けでも楽し
くなつてし
まう元町随
一の舶来ア
ティックの
店。アクセ
サリー、婦人雑貨、靴、ハンドバ
ック、陶器、室内装飾……。もう
なにからなまでにハイセンスなも
のが、すべて揃っているのです。
お店の人は若くて気さくな人ばか
り。おしゃれな神戸っ子、ハイカ
ラミセスは誰でも知っている白レ
ンガのグーなお店なのです。

●元町2丁目浜側
でんわ078・331・8877



ハイセンスな舶来商品
ばかりなのです。

★ペベルモコ

芦屋川の川沿い、国道2号線に
面した芦屋アーバンライフの地階
のかわいいお店・PEPE LE
MOKO 明るくてファミリーな
ムードは女子学生に大モテ！
コーヒー一五〇円、サンドウイ
ッチヘコーヒー・サラタ付、三〇
〇円から。それになんといつても
ファンシーな元町ケーキの美味し
さがいっぱい。女の子なら一度は
行ってみたい
なるのです。
デザートにも素
敵！



デザートにも素
敵！

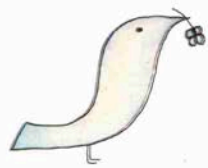


女の子が多いペベルモコ

●芦屋市民会館東側・芦屋川アー
バンライフB2
でんわ0797・31・8314

★Lottie

「短い秋の日の想い出も消えて
白い日だまりにひとり
初冬の装いを思う」



ベージュ・ブラウンの落葉の舞い
枯葉の舞い……」

静かな山の手。諏訪山マンション
1F、ブティックとスナックが一
緒になって、おしゃれウエアとバ
ックアクセサリーなどがそろった
新しい感覚のお店。
ショッピングとカウンターでの軽
いお食事が楽しめます。

（左はともチャージミングなロティのウインドー）



●山手短大西隣諏訪山マンション
1F
でんわ・078・341・5223
AM 11時～PM 10時迄

★花屋敷



三宮フ
ラワール
ードの小
粋なドア
を開くと
きこえて
くる奥田
章三さん
のトラン
ベツト

の音。ロックの生演奏の迫
力が楽しいこのお店は、白
い地中海風のメゾンです。
お昼はお茶をのむだけでも
いいし、夜は、デイスコタ
イムとマスターの水原良夫
さんと、魅力的な女の子が
ロックに合わせてステキな

（写真は九重佑三子と唄うマッ
スターの水原良夫さん・花屋敷で）

バンドと唄うので踊れてのんで軽
いお食事もでてバツケンにしゃれ
たプレイが楽しめます。

●三宮フラワールロード市役所前
でんわ078・251・2109

★かわら乞食

生田新道を東へ二筋北上すると
「青い城」の向い側にある「かわ
ら乞食」の地下をトントンと降り
ると、もう、メルヘンの世界です。
カラフルな異人館の屋根や窓、
古いランプに蓄音器、そんな街並
みの中で、かわら乞食みたいな自
由な気持で、カウンターの中の愉
快な人達とおしゃべり楽しみなが
らすごせるのです。

つきだし二〇〇円、ビール三〇
〇円、水わり四〇〇円、ポタージ
ユ三〇〇円と値段も手頃。午後六
時～深夜まで、おとぎの世界にさ
そいます。左はカラフルな店内）
●神戸市生田区中山手通1丁目19
ノ9 青い城向い
でんわ・078・321・0707



●ルポルタージュ

北神戸をゆく ②

名塩紙

黒部 亨 〈作家〉



◀漣桁で漉草を漉く谷野さん
▼庭先で天日乾燥される和紙



日本人にとって、和紙はなじみぶかく懐しいものだが、現在わが国で製造されているのは約百種類ほどといわれている。

周知のごとく和紙には手漉と機械漉とある。原料はコウゾ、ミツマタ、ガンピなどで、これに木材パルプ、マニラ麻、クワ皮、麻ぼろなどを混用して製造される場合もある。



和紙の原料になるガンピが梁に飾られていた。こんな大きなガンピはめったにないという。

手漉和紙の特色といえ、一般に優雅な色沢と地合をもち、長期保存に耐える強じんさを持つている点で、実用主義の洋紙にくらべると、和紙それ自体が美術品のような美しさと味をもっている。とくに雁皮ガシを用いた「鳥の子」は、緻密チカカク優雅で耐久性に富む最高級品である。

本県の西宮市塩瀬町名塩でつくられている名塩紙は、多可郡加美町でつくられている杉原紙とともに本県和紙

の双壁といわれ、わが国の和紙界でも重きをなしている。その名塩紙の故郷は、宝塚、生瀬の西北、名塩川に沿った幅広い谷間にある。かつては

「名塩百軒」といわれた製紙のメッカも、旧い家がほとんどつぶれて、現在手漉をつづけているのはわずかに五軒。その中の一軒、谷野徳太郎さん方を訪ねてみた。

二代目の剛チカカク惟さん(37)が早速説明してくれた。「名塩紙の特徴を一言でいえば、ガンピに泥土を混和した手漉和紙、ということになりますね。ほかの和紙は原料に糊ワシを混和して女の手で漉かれるのに対して、名塩紙は男職人が坐って行なう溜漉ルミによってつくられます」

和紙に泥土が混っているなど初耳である。

名塩ではこの泥土の種類によって、現在五種類の紙を漉き分けている。カブタ土を入れて漉く「青名」、天子土(卵黄色)を入れて漉く「玉子」、天子土と東久保土(白色)を混ぜて漉く「白茶」、蛇豆土を入れて漉く「淡茶」、楊梅皮の汁と油煙を混ぜて漉く「鶯茶」などがそれである。

この製法はすいぶん古くからあったものとみえて、次のような記録がある。

「鳥の子土、同所(名塩)に在り。此土を設け鳥卵紙に漉交へ、美を能くす。卵色を以て鳥子紙と称す」(「撰陽群談」元禄十四年)

「鳥子紙の一種、天子鳥子が撰州名塩から出ていて、泥土を混和して造るので厚重で裂け易い」

〔和漢三才図会〕 正徳二年

つまり十八世紀初期にすでに泥の混和が行なわれていたことがわかる。泥土の混和率の少ない上質ガンピを「鳥の子」、泥土の混和率が大きいものを「間似合」と称している。



軒先で丹念にガンピの皮を削るおばあさん。手のかかる仕事である。

一体、いつ頃この地に製紙業が定着したか——この点については、いまだに正確なことがわかっていない。伝説としては①名塩住民が木曾へ柚木挽に出かけ、越前で技術を習得してきた。②運如上人がこの地へ巡遊されたとき、供をしてきた越前人によって技術が伝わえられた。③江戸初期ごろ、東山弥右衛門という人が越前へ出かけて技術を盗みとってきた、等の諸説があるが、地元の人は③の伝説を信じているようである。

当時の製紙製陶技術などはほとんど秘法とされていて、肉親か後継者以外には伝授しなかった。弥右衛門は越前へ出かけて紙漉職人の家に習養子に入りこみ、秘法を盗んでから妻子を捨てて名塩に帰ってきたといわれている。職人の冷酷な生き方と捨てられた妻子の悲しみ、というのは小説にとってはうってつけのテーマで、水上勉氏の小説にこの種の作がある。

東山弥右衛門之墓というのが、現在も同地の中山という丘の上にある。くわしい人物はわからないが、一応この人が名塩紙の元祖ということになっていて、戦前までは毎年盛大な祭りや相撲興行が行なわれたという。



剛惟さんが屋敷の中をあちこち案内しながら、製紙工程をひと通り説明してくれる。「原料のガンピは、コウツやミツマタのように栽培できませんから、六甲山に自生しているものを、委託業者に採集してきてもらっています。この近辺のガンピが一番良質なんです。人の背丈ほどの灌木で、春に採集したものがいいですね。伐り取っても根さえあれば一年に三十七センチくら



銀杏干板に刷きつけられる濡紙。板にくっつくほうが紙の表。

土（卵黄色）、蛇の目（茶褐色）、カブタ土（青色）などと名づけられ、村の近辺には採掘跡の古い洞穴が黒い口をあけて歴史の古さをものがたっている。現在はカブタ土がもっとも多く利用されているが、この土は名塩にしかない。

ガンピと泥土の主要原料が、二つとも地元産というところに名塩紙発達の要因があると思われるが、現在中国縦貫自動車道路の建設工事のため、周囲の山がだいぶ荒らされつつある。泥土の採集が窮屈になりそうです、と剛惟さんは眉を曇らせる。

ガンピの皮を「荒」といい、水に浸して軟かくしてから、雁皮庖丁で黒い表皮を削り取ったものを「白」と呼ぶ。この作業を「雁皮みしり」といい、一貫目の荒が四百匁の白に減る。これを日光乾燥してから、大釜に入れて木灰のアクで四、五時間煮つめ、清水にさらしてアク出しする。これを「水より」という。水よりを何回か繰り返しチリヤシミを取り除くのは、すべて女の手仕事である。

ついでクラッシュャーで繊維を分離する。よくこなれた繊維は丸められて紙の原料液「漉草」となり、漉舟の中で水と泥土を混ぜて攪拌する。この混ぜ具合に経験とカンがいる。さらにネリ（シヤナともいう）という糊を適当に混ぜる。但馬産のノリウツギの甘肌から採ったネリは、一般に使用されるトロロアオイより粘性が強く、長い繊維をしっかりとからみ合わせしてくれるので、紙のキメが緻密になる。

名塩の特徴は、何といてもその漉き方にある。流し漉きでなく、いわゆる溜漉である。矢竹を使った下桁（縦

い伸びますから、原料がなくなる心配はまずありません）ガンピは他の原料にくらべて繊維が細かく、丈夫な和紙ができる。専門の採集者は、山にはいっただけでガンピのありがたかわかる。村の子供たちが小づかい稼ぎのために採集してくることもあるという。

泥土のほうも地元産である。東久保土（白色）、天子



名塩紙の元祖、東山弥右衛門の墓

していて、ソリがないからである。

天日乾燥した紙は白くなり、自然にはがしやすくなる。これを百枚ごと束にして四方の耳を「端切り」し、干板一組を一梱として出荷する。昔は有馬温泉の入湯客にも土産として売られたという。

◇

名塩紙の用途のうち、襖や屏風に使用されるものもとても多い。泥の混合率の少ない一級品は上張りに、古和紙にガンピを混合して再生された二級品は下張りに使用される。

越前の烏子紙にくらべると、泥が混っているだけに伸び縮みがなく、火や乾燥に強く、虫くいやネズミの害がないので襖にはうって

ついで、東宮御所造営のときも宮内庁から大量に買いあげられた。

五〇センチ、横九〇センチ)の上には手織り麻布に柿シブを施した帛の簀をのせ、これを上桁でおさえる。麻布のかわりにナイロンを使うところもあるが、これだと柔らかすぎて簀の竹の網目が出て、名塩の紙の味が出ない。剛惟さんが実際に漉いてみせてくれる。漉桁で漉舟の漉草をすくいあげ、簀の上に溜めて前後左右にゆする。数回漉草をすくいあげては同じ動作を繰り返す。植物の繊維やゴミが浮いているのを、ピンセットで除去する。細かい神経のいるシンキくさい仕事である。和紙製法の上でも古風な形態だが、こういう入念な手づくりの技術でなければ、名塩紙の味は出せない。

漉きあげられた製紙は、右横の積み板の上に重ねられ、百五十枚に達したところで、押しをかけて一昼夜水を切る。じかに重ねられた濡紙は、一見、ダンゴになりそうに思われるが、ノリウツギのネリの効果によって、ちゃんと一枚一枚めくれるようになっていく。このあたりが素人にはどうにも腑に落ちないところである。

はがしとった濡紙は、銀杏の一枚板でつくった干板に刷きつけられる。板にくっつく方が紙の表。金属乾燥を使わないで銀杏の板を使うのは、木目がなく、つるつる

また、泥入り紙質は贋造を防ぐため、元禄頃からは藩札にも使われ、地元尼崎藩をはじめ畿内の諸藩から下命を受けた。明治以降の主製品に箔打紙があることも見のがせない。これは純雁皮に少量の泥を入れた薄葉紙で、金箔、銀箔それぞれ専用の箔を圧延する料紙となっている。薄葉紙はカルタの面や書物の表紙などにも使用されているが、素人にはちょっと気のつかないところである。金・銀箔を張りつける箔下紙にも使用される。金屏風とか仏壇の金箔などがそれで、谷野家には鮮やかな玉虫色を描きだした二つ折り屏風があるが、これも名塩紙ならではの味である。

ほかに短冊、色紙、葉袋紙、最近ではさる有名洋画家が、名塩紙を使って油絵を書く技法を成功させたという。とはいえ、建築様式の変化によって、障子紙や襖紙の需要はひと頃に比べるとおとろえてきたといわねばならない。今後の日本人の生活様式を考えると、希望もてるのは壁紙ということになる。和紙の伝統と質が、洋紙にはない工芸的要請をみたしてくるはずで、この



ご自慢の名塩紙を手にとり説明する谷野剛惟さん(右)と筆者(左)

らやるんですよ」

水道の水は、夏は水が腐って紙がわるくなるので、いまでも山の井戸水しか使わない。一人前に売れる紙がつくれるようになるためには、ざつと十年はかかる。その間、水くみからガンビ採り、泥土採りと、工程の手数がこんでいるだけに、素人には想像できない苦労がある。

一、朝のはよから御坊さんの杉で、カラスが鳴いて眼がさめた。よんつべ夜なべの土こね舟に、落したあの娘の文を、あわてて拾うて懐に入れた。

一、あの子いまごろ水より仕事、指がいたいやろ、しんどいやろ。おらが隙取(ミシリのこと)できたら飛んでいたるぞ、助けたるぞ。

一、いまに見とれ、おれさまやっで、一生けんめい稼いで貯めて、紙漉丹那に出世して、可愛いあの娘と世帯もとう。

右の唄は「名塩紙漉ぶし」の一部。いかにつらくわびしい労働であったかがうかがわれる。

「わたしもね、はじめのうちは、友だちと同じようにサラリーマンに

分野での需要が大いに期待できそうだ。

「紙漉きというのは、つらい仕事でしてね」と剛惟さんが述べた。

「ふつう、朝五時から夜までです。一日に百枚から百五十枚、よく漉いて二百枚というところですからね。冬がつらいですよ。寒漉きは紙質としてはよいものができるんですが、手が凍えましてね。湯で手をあたためるな

なりたかったですよ。でも、いまではこの仕事をしてよかったですと思っています。誇りをもっていますよ」

名塩でいちばん年若い紙漉職人の剛惟さんは、力強くそういつてくれた。衰微しかけている郷土産業を再興させる意欲と自信が、面上にあふれている。

その剛惟さんは目下、県の物産展に出品する名塩紙の製作に懸命に打ち込んでいるところである。



呉服の粋

赤

坂

本 店 神戸市生田区元町通六丁目
大丸前店 市電大丸電停山側(391)三一六四
(341)五五一八・八六五三



幸せな二人の
縁を結ぶ
結納儀式用品



結納儀式用品

遠藤福寿堂

神戸大丸姫路やまとやしき
そごう神戸店 姫路山陽百貨店
東店 トア・ロード那寿2階 TEL (391) 1871~3
西店 長田区市バス菅原東入る TEL (575)2251~3